

3 食品残留農薬試験結果

【食品化学科】

毎年、行政検査として実施している県内産農産物の残留農薬試験で、平成7年度は、ねぎ、らっきょう、きゅうり、すいか、二十世紀梨、だいこん、キャベツ、柿及び玄米の9品目45件について、食品衛生法に基づく規格基準が設定されている59農薬、合計1,643項目の残留量試験を実施した。

その結果は表1に示すとおり、ねぎについて、ダイアジノンが0.002ppm、きゅうりについて、

BHCが0.0013～0.0024ppm、ディルドリン（アルドリンを含む）が0.0022～0.004ppm、二十世紀梨について、BHCが0.0003～0.0004ppm、クロルピリホスが0.002～0.008ppm、プロチオホスが0.08ppm、フェニトロチオンが0.002～0.003ppm、だいこんについて、BHCが0.0008ppm、玄米について、カドミニウムが0.01～0.04ppmそれぞれ検出されたが、いずれも基準値を下回っていた。

表1 食品残留農薬試験結果

検体名	採取月	検体数	試験項目数	試験結果（単位：ppm）
ねぎ	5	5	29	ダイアジノン（0.002）1件 その他すべて不検出
らっきょう	6	5	27	すべて不検出
きゅうり	6	4	41	BHC（0.0013～0.0024）4件 ディルドリン（アルドリンを含む）（0.0022～0.004）2件 その他すべて不検出
すいか	6	5	34	すべて不検出
二十世紀梨	8～9	7	42	BHC（0.0003～0.0004）3件 クロルピリホス（0.002～0.008）2件 プロチオホス（0.08）1件 フェニトロチオン（0.002～0.003）2件 その他すべて不検出
だいこん	9～10	4	36	BHC（0.0008）1件 その他すべて不検出
キャベツ	10	4	39	すべて不検出
柿	10	4	37	すべて不検出
玄米	12	7	41	Cd-（0.01～0.04）4件 その他すべて不検出
合計		45	1643	